

地質の日 行事 第33回地球科学講演会「カンブリア大爆発のあとさき」

5億数千万年前、古生代最初のカンブリア紀と呼ばれる時代の前半には、現在海洋中で生息する主要な動物の祖先型がすでに出現していました。その時期に生じた「カンブリア大爆発」と呼ばれる現象はあまりにも有名です。しかし、その前後での地球生物環境の様子はあまり知られていません。カンブリア紀の前半に、地球の海洋生物相はどのように移り変わっていったのでしょうか。時代背景や移ろいを知ることで、カンブリア大爆発の実像のみならず、その現象が、後の地球生物環境の変遷に及ぼした影響を正しく評価できるはずです。今回の講演では、中国やモンゴルでの野外調査のデータも紹介しながら、カンブリア紀の海洋環境の変遷をわかりやすく紹介します。

開催日 5月8日（日）

時間 午後1時30分～3時30分（午後0時30分より受付）

場所 自然史博物館 講堂

講師 江崎洋一氏（大阪市立大学 大学院理学研究科 地球学科 教授）

対象 どなたでも参加できます

参加費 無料（博物館入館料必要）

その他 講演の手話通訳を希望される方は、4月19日（火）までに、博物館までご連絡ください

申込み 申込みは不要です。

担当者 [地史研究室の塚腰](#)

主催 地学団体研究会大阪支部・日本地質学会近畿支部・大阪市立自然史博物館
